

当社の稼働倉庫及び バランスシートの概況に関して

2026年3月27日

パッケージの専門商社

証券コード:7504



株式会社 **高速**

直近の主要な倉庫増床に関して

直近での主要な稼働倉庫及び現時点の倉庫稼働予定は、以下のとおり。2025年9月末時点で延床面積6.6万㎡と賃借物件も多く存在していることから、新規での自社物件取得に加え、既存賃借物件の自社保有物件への移転を含め、成長投資の余地を多く残している状況。賃借倉庫の自社物件化及びさらなる増床により、より安定的な物流の構築並びに物流効率向上を進め、順次稼働率を高めてまいります。取引拡大と稼働率の関係については、次ページをご参照ください。

所在地	保有形態	倉庫面積	2025年度 3Q	2025年度 4Q	2026年度 1Q	2026年度 2Q	2026年度 3Q	2026年度 4Q	2027年度 1Q	2027年度 2Q
千葉県	賃借	約5千㎡	2025年11月稼働							
神奈川県	賃借	約5千㎡	2026年4月稼働(予定)							
岩手県 (盛岡営業所)	自社保有	約1万㎡ ※移転前約5千㎡	2027年2月稼働(予定)							
大阪府 (西日本 営業拠点)	自社保有	約1.1万㎡ ※移転前約3千㎡	2027年1月稼働(予定)							

2025年9月末時点で稼働している当社単体の倉庫概要

自社物件 : 延床面積8万㎡

賃借物件 : 延床面積6.6万㎡

※上記の千葉県所在の倉庫など、従来の賃借倉庫からの移管・統合も含むため、2025年9月末時点の稼働倉庫から上記倉庫の延床面積が純増するわけではないことは、ご注意ください。

※西日本営業拠点取得の概要は、6ページをご参照ください。

倉庫増床・稼働率上昇の流れ

お客様との取引拡大

既存倉庫での対応※1

お客様との取引拡大

既存倉庫での対応不可

自社物件取得による増床

賃借倉庫による増床

補足

お客様との取引拡大から、当社倉庫増床への流れは左記のとおり。必要に応じて増床している倉庫は、随時稼働率を高め、効率性を高めております。

※1

【既存倉庫での対応】

・月商対比を意識した適正在庫の維持及び保管スペースの見直しを随時行っており、在庫回転率の向上による既存倉庫の有効活用、資産効率の向上に努めております。

【自社物件取得と賃借倉庫の選択に関して】

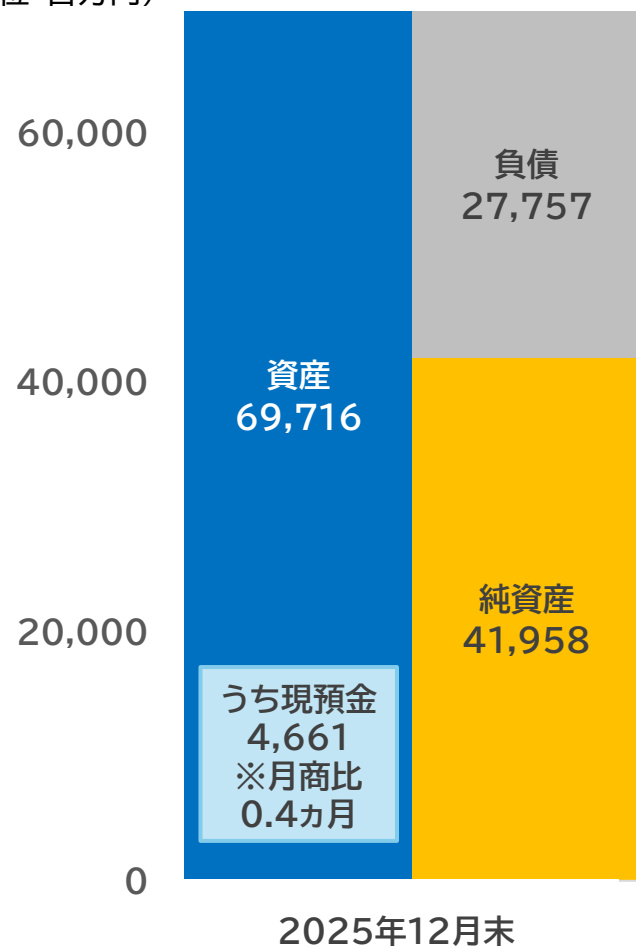
自社物件化に伴う取得金額に応じた採算性を検討のうえ、不動産を選定し、今後も自社物件化を進めることで、倉庫内の効率化、さらなる中長期的な持続的成長に向けて努めてまいります。

バランスシートの概況

2025年12月末におけるバランスシートの概況及び今後の活用方針などとしては、以下のとおりです。

当社は、引き続き事業規模拡大・売上高増加の余地が大きいことから、創出しているキャッシュを着実に成長投資に振り向け、必要に応じて有利子負債も活用することで、資本効率のさらなる向上、事業規模の拡大及びEPS(1株当たり純利益)増加に向けて努めてまいります。

(単位:百万円)



※月商比は、実績売上高による平均月商をもとに算出

直近の状況・今後の活用方針

【資産】

・2025年12月末時点で、現預金46億円(月商比0.4ヵ月)のほかに、待機資金の一部を運用している満期保有目的債券が37億円存在。この債券を順次資金化しているほか(2026年度上期も4億円を予定)、既存拠点移転後の不動産売却等により、現時点で、2026年度中に、少なくとも非事業資産10億円程度の資金化を進め、成長投資に充当予定。

【負債】

・手元資金の水準等を踏まえ、必要に応じて引き続き有利子負債を活用
純資産の積み上がりによる有利子負債の活用余地増加については次ページ参照。

【今後の活用方針】

創出したキャッシュは、今後も、着実な成長に向けた設備投資、株主還元、M&Aに充当してまいります。

<ご参考> 今後の主要な設備投資計画

2026年度 盛岡営業所の用地取得及び自社物件の建築(総額25億円)

2025年度での既支払金額13億円、2026年度支払予定残額12億円

本資料2ページ記載のとおり、賃借物件も多く有しており、採算性など検討のうえ、不動産を選定し、今後も自社物件化を進めることで、中長期的な持続的成長に向けて努めております。

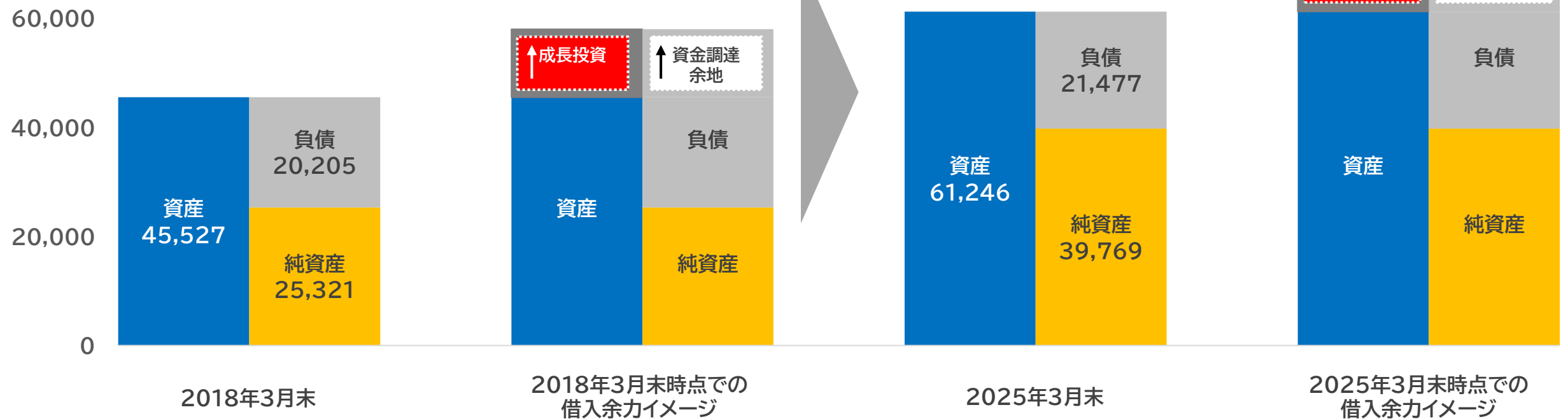
ご参考:有利子負債の活用余地

現中長期経営計画開始前2018年3月末におけるバランスシートと、2025年3月末のバランスシートのイメージは、以下のとおり。利益の積み上げによる純資産増加の結果、従来よりも借入余力も大きく増加。持続的成長のための設備投資並びにM&A案件へより資金を振り向けることが可能な状態に。

中期経営計画 第1フェーズ(2018年度～) 開始前
2018年3月末

中期経営計画第2フェーズ 4年目終了時
2025年3月末

(単位:百万円)



外観



西日本営業拠点(大阪府)の概要

1. 取得の理由

西日本における業容拡大に伴い出荷能力及び在庫保有能力の増強を図るため

2. 取得資産の概要

- (1)所在地:大阪府枚方市長尾谷町
- (2)取得時期:2025年6月
- (3)設備投資金額:3,201百万円(土地及び建物)
- (4)建物延床面積:約11,000㎡
- (5)営業拠点としての稼働時期:2027年3月期(予定)
※現在は、当社から他社に賃貸中

3. 今後の見通し

本件が2026年3月期連結業績に与える影響は、2025年5月9日に開示しております「2026年3月期連結業績予想」に織り込んでおります。

本物流拠点の本格稼働は、2027年3月期を予定しております。

企業価値向上に向けた取り組み

・「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」に関する現状の取り組みの整理のほか、機関投資家などみなさまからのよくあるご質問に対するご回答を整理し掲載しております。

<https://www.kohsoku.com/investment/initiatives-to-enhance-corporate-value.html>

IRメール配信サービス

・最新の適時開示等、当社IRに関する情報について、ご登録のメールアドレスにお知らせいたします。

<https://www.kohsoku.com/investment/mail.html>

ディスクレーマー

- ・本資料を作成するに当たっては、正確を期するため慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
- ・本資料に含まれる将来に関する記載内容は、本資料の作成時点現在において入手可能な情報および仮定に基づいており、実際の業績は、様々な要因により計画と異なる場合があります。
- ・本資料における情報の使用につきましては、各自の判断、責任においてご使用いただくことを、ご了承ください。

本資料について

・本資料において、金額は表示単位未満を切り捨てて表示、%(パーセント)で表示する項目は、表示単位未満を四捨五入して表示しております。

パッケージの専門商社



株式会社 高速

投資家情報 ホームページ

<https://www.kohsoku.com/investment/>